

就任のごあいさつ

飯山市教育長

山田 晃



このたび飯山市教育長を拝命いたしました山田晃と申します。

全国的に少子高齢化が進んでおり、飯山市においても同様です。出生数が減少するとともに児童生徒数も減ってきており、今後、地域社会で脈々と受け継がれてきた取組の持続可能性がいつそう危惧される状況であると感じています。

このような状況において、「子どもから大人まですべての市民のための教育行政をどのように進めていくか」が大事な課題であると考えています。そこで、この課題に対して次のような取組を進めていきます。

まず「新たな小学校づくり事業」では、あと一年に迫った城北小学校の開校に向け、開校準備委員会を中心にしたための準備を進めていきます。

特に城北小学校の教育内容の具現化、放課後子ども教室の具体化等の取組を進めていかなければなりません。

また、これまで行われてきた学力向上事業を継続し授業改善をいっそう推進していくことや、不登校対策において不登校児童生徒一人一人に応じて教育支援センター等を効果的に活用することなどの取組が重要であると考えます。

さらに、飯山市の子どもたちにとって魅力ある望ましい保育環境の実現に向けた検討会が始まっており、今月から新設された「こども女性家庭センター」では、子ども、女性、家庭等の相談に一括して対応させていただきます。

社会教育や生涯学習に通じるものとしては、中学校の休日部活動の地域クラブ移行に関わって、引き続き卓球部を

モデル事業として具体的な取組を進めていきます。また、2028国民スポーツ大会に向けた事業を推進し、スポーツの振興と地域文化の発展に繋げていきたいと思えます。

さらに、コロナ禍で希薄となった人と人との繋がりの回復を図ることを大切にして公民館活動等を推進していきます。

そして、男女を問わず誰もが自分らしさを発揮し、自己実現を図ることのできる社会を皆様と共に目指していきたいと思えます。

春夏秋冬それぞれの季節に美しい情景が見られ「日本の原風景が感じられるまち」とされる飯山市に住むすべての市民のための教育行政に精一杯取り組んでいく所存です。市民の皆様のご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

飯山市の魅力ある保育の実現を目指して「飯山市未来の保育検討会」が始まりました

全国的に少子化が進む中、飯山市も例外ではなく園児・児童数が減少しており、保育園の小規模化が進行しています。このような状況にあっても、飯山市の子どもたちにとって、魅力ある望ましい保育環境の実現に向け、「飯山市未来の保育検討会」による検討を始めました。

検討会は、各保育園の保護者と園長、民生児童委員協議会や主任児童委員会の代表をはじめとした有識者、公募委員の計21名で構成。3月15日に飯山市役所で開催した第1回の会議では、互選により丸

育児を理由とした保育必要性認定基準を「2歳未満」に子育て世帯の保育を拡充します

これまで、第2子以降のお子様が生まれたご家庭において、保護者が「育児」を理由に第1子などの保育園利用を希望する場合、生まれたお子様が「1歳に到達するまで」保育の必要性がある、として上のお子様の保育園利用を認定していました。

山明美さん（飯山市主任児童委員会会長）が検討会の会長に選出されました。会議では、令和4～5年度に検討を行った「保育園適正規模等研究委員会」において重ねてきた検討内容や、魅力ある保育の実現に向けた課題について事務局から報告が行われたほか、各委員から子どもや保護者にとつての魅力ある保育園について、それぞれ意見が出されました。

今後、全4回程度の検討を行い、提言をまとめる予定です。お問い合わせ 子ども育成課子育て支援係 Tel.6710741（課代表）

この保育必要性の認定要件について、保育を拡充し市民の皆さんが安心して子育てできる環境を整えるため、令和6年4月より「2歳未満」に引き上げ、保育の充実に努めてまいります。 ご不明点等ありましたら、子ども育成課までお問い合わせ

魅力ある未来の保育実現に向けた課題

(保育園適正規模研究委員会(令和4～5年度)での検討結果から)

- 少数のため異年齢児と一緒に保育を受けている(混合保育)
- 保育ニーズの多様化(0歳児受け入れ、保育時間延長等)
- 施設の老朽化
- 小規模職場による保育士業務の負担が大きくなっている
- 若手保育士がベテラン保育士から学ぶ機会の減少
- 希望する保育園に通園できない恐れがある



してください。お問い合わせ 子ども育成課子育て支援係 Tel.6710741（課代表）

地元の産業を知るきっかけに

「飯山未来塾2024」開催

飯山高校と岳北地域高校の魅力づくり研究協議会飯山高校部会では、3月14日、「飯山未来塾2024」を同校で開催しました。

飯山未来塾は、同校生徒のキャリア学習として令和3年度から実施。今回は地元企業14社が自社の事業内容、福利厚生、求める人材などについて、各10分程度、オンラインで生徒に向けてプレゼンテーションを行いました。

飯山高校は、進学を目指す生徒が多いということです



各事業者のプレゼンテーションを各教室で興味深く聞く飯山高校生徒の皆さん

市内小中学校校長・教頭紹介(敬称略)

- | | |
|---------|--------|
| ○秋津小学校長 | 字佐美昌博 |
| (同 教頭) | 岡田 絵美 |
| ○飯山小学校長 | 村田 忠久 |
| (同 教頭) | 白石 裕順 |
| ○泉台小学校長 | 千野 美奈 |
| (同 教頭) | 三本木 映 |
| ○常盤小学校長 | 堀 正則 |
| (同 教頭) | 塚田 久美子 |
| ○戸狩小学校長 | 小田切 浩一 |
| (同 教頭) | 浅野井さお里 |
| ○東小学校長 | 堀内 寛子 |
| (同 教頭) | 土屋 英彦 |
| ○木島小学校長 | 深沼 浩 |
| (同 教頭) | 宮崎 尚子 |
| ○城南中学校長 | 山下 雅弘 |
| (同 教頭) | 西澤 剛 |
| ○城北中学校長 | 齊藤 正一 |
| (同 教頭) | 小林 洋一 |

公正な採用選考をお願いします

学習権シリーズ

飯山公共職業安定所長 赤羽章

私たちが健康で文化的な生活を送るために、「就職」は極めて重要な意義をもっていますが、人生を左右しかねない重大な決定であるからこそ、採用選考は公正に実施されなければなりません。

ハローワークでは、不合理な理由で就職の機会が制限されることのないよう、就職の機会均等の確保と、応募者の基本的な人権を尊重した公正な採用選考の実施について、事業主の皆様方にご理解とご努力をお願いしています。

採用選考にあたっては、採用する側が応募者に広く門戸を開いたうえで、人種・信条・性別・社会的身分・門地などによらず、本人の適性と能力に基づいた、差別のない合理的な基準による採用選考を行っていただくことが不可欠となります。

そのためには、本人に責任のない事項(本籍地・家族の職業・住居状況等)や本来自由であるべき事項(宗教、支持政党、尊敬する人物等)を採用基準

とし、その結果として、採用する側には、採用方針・採用基準・採否の決定など、「採用の自由」が認められています。が、応募者の基本的人権を侵害してまで認められているものではありません。

事業主の皆様におかれましては、公正な採用選考の考え方についてご理解いただき、差別のない選考の実施に向けて積極的な取組みをお願いいたします。